



【柳亭種彦『近世怪談霜夜星』(文化5年(1808)刊)挿絵よりお沢(お岩)の亡霊。画師は葛飾北斎。個人蔵。】

### 講師より

「読本」を知らなくても、秋成の傑作『雨月物語』や、馬琴の代表作『南総里見八犬伝』をご存知の方は多いのではないのでしょうか。

今回は、江戸時代の後半に出版された波瀾万丈の勧善懲悪小説＝「読本」の流れを辿りながら、その魅力と価値についてお話いたします。

また、私の勤務先国文学研究資料館(国文研)の所蔵本などの画像を通じて、初刷り原本の美しさを堪能していただければと思います。

2011年6月25日(土)

午後2時～午後4時

湘南国際村センター第2研修室

参加費：650円(高校生以下無料)

ソフトドリンク・お菓子セット付き

定員：40名(先着順)

後援：葉山町

応募受付期間：5月17日(火)～6月3日(金)

お申込み・お問い合わせ：

(財)かながわ国際交流財団湘南国際村学術研究センター 小松

Email：academia@kif.ac

TEL：046-855-1822 FAX：046-858-1210

# 読本

## 江戸 伝奇小説の世界

講師

大高洋司

総合研究大学院大学 教授  
国文学研究資料館 教授



【プロフィール(おおたか ようじ)】

慶應義塾大学大学院修了。博士(文学)。  
主な研究分野は日本近世小説。2009年2月、  
代表をつとめた国文研プロジェクト研究の成果  
として『読本事典 江戸の伝奇小説』を刊行。

## 湘南国際村センター 交通案内



### 【バスをご利用の場合】

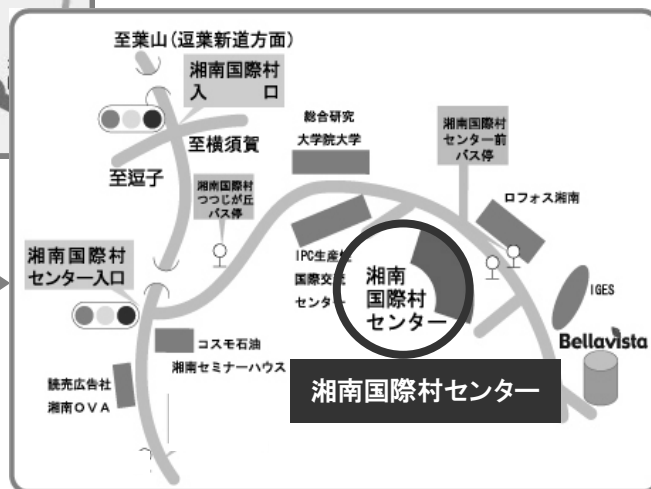
- ① **逗子駅発 湘南国際村行きのバス**  
 JR 逗子駅前1番乗り場より16系統「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。所要時間約30分、料金340円。(JR 逗子駅発車後2〜3分で、京急新逗子駅前1番バス乗り場に停車。)  
 開始時間にちょうどよいバスは、**12:53 発** です。
  - ② **汐入駅発 湘南国際村行きのバス**  
 京急汐入駅前2番乗り場より「湘南国際村」行きバスに乗り、「湘南国際村センター前」下車。所要時間約30分、料金370円。  
 開始時間にちょうどよいバスは、**12:47 発** です。
- ※その他、11:21 逗子駅発・11:07 汐入駅発 の便があります。

### 【タクシーをご利用の場合】

JR 逗子駅前タクシー乗り場より湘南国際村センターまで約15分、料金約2,800円。

### 【交通案内HP】

<http://www.shonan-village.co.jp/access.html>



(財)かながわ国際交流財団・湘南国際村学術研究センター  
 FAX: 046-858-1210 E-MAIL: academia@kif.ac

- 下記申込書をファックスでお送りください。同じ内容をE-MAILでお送りいただいても結構です。
- 先着順にて受付(募集: 40名)。応募受付期間は**5月17日(火)から6月3日(金)**です。
- お申込み後のキャンセルはお早めにご連絡ください。
- 参加費(650円、高校生以下無料)は、当日受付にてお支払いください。
- お電話でのお問い合わせは、**TEL: 046-855-1822**(担当: 小松)までお願いいたします。

### 湘南国際村アカデミア/サイエンス・カフェ「読本—江戸伝奇小説の世界」参加申込書

ふりがな			
氏名			
住所	(〒 - )		
電話・FAX	電話 ( )	FAX ( )	
Eメール	Eメール		
高校生以下(高校生含む)の方は、右の口に✓してください。 <input type="checkbox"/> 高校生以下			

この催しを知ったきっかけ[ちらしの入手先など]:

※お送りいただいた個人情報(財)かながわ国際交流財団及び総合研究大学院大学が取り扱い、第三者には提供いたしません。今後、イベント等のご案内をさせていただく場合がございます。